

# Company study trip in NY 2011

H23.11.9(水)～14(月) 田中ひろみ

## 東京スカイツリー (Tokyo Sky Tree)

ニューヨーク研修前に東京LIXIL GINZAショールーム他を見学途中の道筋で

ビルの間から顔を覗かす「東京スカイツリー」



2011年11月 東京スカイツリーと東京タワーがほぼ同じ高さに並んだと聞いたばかりだが、その風景は残念ながら実際に見ることは出来なかった。それでも香川に居ると工事途中すら見る事など出来ないのだから本当にいい機会だ。

既存の電波塔である東京タワー周辺は超高層建築物が建ち、その影となる所の電波問題の低減やワンセグ、マルチメディア放送といった携帯機器向けの放送を快適に視聴できるようにすることも建設目的の一つ。全体の主要接合部が溶接により建設され、鋼管同士を直接溶接接合する分岐継手を採用、軽量化と耐震性を増している。主要鋼材はH鋼ではなく鋼管を使用。又、溶接作業の一部には手作業によるところも多いと聞いた。

塔が傾いて見えるところが何カ所もあり、左右対称に見えるところは3点しか無いと言う。それは「そり」を取り入れているから。まっすぐというの美しいが、日本刀のようにわずかにそった形というのは、厳しさが出てまた美しい。この「そり」に加え、「起(む)くり」という形も取り入れている。



ギリシャ建築の柱は途中で膨らんでおり、日本でも京都や奈良の大きなお寺の柱を見ると、その様な造りになっているが非常に温かい感じがする。これもわざと途中をちょっと膨らませているからだ。



ではもう一度、見上げて見よう。

また違った面白さが見つかりそうだ。

# MAJESTIC THEATER

マジスティックシアター



## 「The Phantom of the Opera オペラ座の怪人」 11/10(木)観劇

ニューヨーク到着翌日マジスティックシアターで

「オペラ座の怪人」を観劇

日本で映画は観ていたが、やはり劇場での生の歌声はまた格別のものだった。

マジスティックシアターの外観はそれ程古さを感じなかったが、一步中に踏み込むと、劇場としての歴史を感じることが出来た。

まず目を引いたのは天井の高さ、そして要所々に施された目を引く様なデザイン。

まるでヨーロッパの協会のような。



それとは別に違った意味で驚いたのがトイレである。

途中休憩に一齐に観客がトイレに集中する。

長い列が出来、次の幕開けに間に合うのかと不安になるぐらいだ。

そのトイレのドアが日本とは違い、上下が驚く程開いている。

これも、アメリカの治安の悪さからなのだろうが、やはり日本人の私には少し抵抗があった。

